

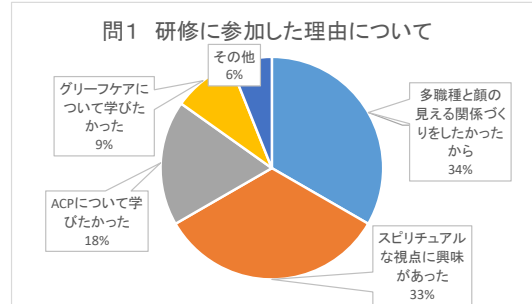
令和3年度 つくば市在宅医療・介護連携推進事業「多職種連携のための研修会」アンケート集計結果

開催日：令和4年2月15日(火)

回答数：18人(出席53人)

問1 多職種連携のための研修に参加した理由をお答えください(複数選択可)

項目	人数
多職種と顔の見える関係づくりをしたかったから	11人
スピリチュアルな視点に興味があった	11人
ACPIについて学びたかった	6人
グループケアについて学びたかった	3人
その他	2人

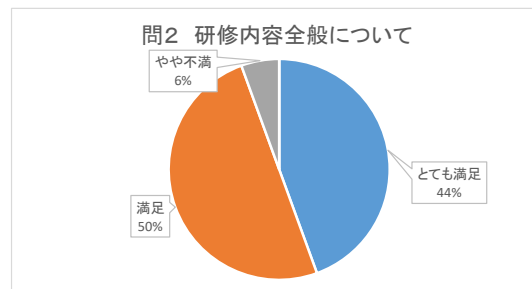


その他

- ・相談援助技術に、また違った角度から学びを深めスキルアップしたいと考えたから。
- ・日頃の業務に生かしたかったテーマであったため

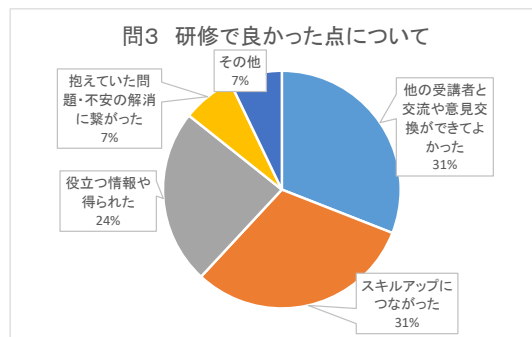
問2 今日の内容全般について、ご満足いただけましたか(4択)

項目	人数
とても満足	8人
満足	9人
やや不満	1人
不満	0人



問3 研修で良かった点を選択してください(複数選択可)

項目	人数
他の受講者と交流や意見交換ができてよかった	13人
スキルアップにつながった	13人
役立つ情報や得られた	10人
抱えていた問題・不安の解消に繋がった	3人
その他	3人



その他

- ・心にしみる講義でした。心の整理法記入してみて気持ちがすっきり整理ができた。
- ・穏やかな時間になった。
- ・ありのままを見つめること、常識的な価値判断をしない、私にはとても難しいことですが、自分自身を見つめなおすことから始めたいと思います。

問4 今日の講義やグループワークを通して学んだことを記入してください

- ・寄り添う事、傾聴することが大事と学んだ。
- ・お話を聴くという基本的な部分の聞く側の基本的な姿勢がご相談者様の心に与える影響の大きさに改めて気づきました。
- ・話しを聞いてもらう気持ちを体験でき、傾聴する側の表情やリアクションを学ぶ事ができとても良い経験になりました。
- ・傾聴とよく言われますが、ともすると専門職はアドバイスしなくては…、何か言葉を返さなくては…、と思うことが多いかと思います。内容によるかとは思いますが、ただ黙ってうなずきのみで聞く…。それが相手の方のお心の整理に繋がるのではないかと思います。
- ・沈黙のリスニング、うなずき・相槌のみで傾聴する事のまどろっこさを感じましたが、日常でもやってみたいです。
- ・傾聴が重要であること 話すことでストレスが軽減されること
- ・リラックスするには時間が必要と感じていたが、少しの時間でもリラックスできる。
- ・自分を振り返り気づきの時間がほんの数分ででき、相手のことも心開いて話せる雰囲気作りのヒントが得られた。
- ・受容の大切さ
- ・リモートなので自分自身の聞く姿勢に関して、より理解が深まりました。
- ・話をすることは時間ではなく、聞いてもらった感により、それは「話した」や「聞いてもらった」という満足度につながると学ぶことができた。

批判やアドバイスされる事もなくただただ聴いて頷いてくれている事で、話しているうちにこちら心も整理が知らず知らずに出ていた気がしました。聴く方としても話している人に向かい、途中で批判や私的なアドバイスとしてしまいがちだが、そういうものを求めて話しているのではないという感想があり、聞いてくれるだけでいいんだなど思いました。

- ・ ACPやグリーンケアについて、具体的な話がなかったことは残念に思った。宗崎先生の日頃の関わりの中から具体的な話を聞きたかった。相手のありのままを受け入れること、寄り添う姿勢が大切であることを学んだ。
- ・ グループで話し手や聞き手に分かれて気になっていることを話したことで話す側の立ち場についても理解できた。
- ・ 傾聴の姿勢について改めて学ぶことが出来た。
- ・ 日頃から相手に対して何を言うかを感じながら会話をしていましたが、何を言うかではなく、どんなふうにいるかを考えながら対話する。
- ・ 傾聴の難しさを改めて感じました。
- ・ 話の聞き方、感じ方

問5 今日の講演やグループワークを通して学んだ中から、取り組みそうなことを教えてください

- ・ 患者に対してだけでなく、一緒に協同の作業を行う仲間に対しても寄り添い、傾聴することから始めたいと思う。
- ・ 普段の相談ではどうしたら課題解決ができるのかに意識が向きがちになっていることを改めて認識できたので、今回のワークで体験した傾聴することによって今一度意識を向けて相談活動に取り組みたいと思いました。
- ・ 相手の気持ちに「心から」寄り添うという想いが一層強まりました。サービス主体にならずそこまでの過程を大切にしていきたいと思います。
- ・ 5ステップ腕だけ散歩、頷きのみで聞くことをスタッフにも伝え、仕事に生かしたいと思います。
- ・ 沈黙のリスニングを実施し、心に深く寄り添えるように実践していきたい。
- ・ 聴くときには、同意しているという表現をすること
- ・ 会話の時の聞く大切さを頭に入れて今後支援していきたい。
- ・ ありのままの自分、ありのままの相手を受け入れること押し付けにならないよう気を付けていきたい。本人が話をしながら自分で気持ちの整理をしている。
- ・ 箱の心の整理術
- ・ 今回学んだ「受容」のスキルをみがき、利用者様の緊張の解消をおこなっていきます。
- ・ 「話を聞いてもらった」「話し切った」ことで、少なからず満足度があることが実感できた。そのため、日常的にも相談者に対しての話をさせることの大切さを学べたため、実践したいと思う。5ステップ腕だけ散歩の動きがリラックスにつながるため、仕事中にリラックスしたい時にやってみたいと思う。
- ・ 話の途中で横から入ってしまった、仕事目線での改善方法などしてしまいがちだったが、まずは一旦聴きましようと思った。アドバイスはしている方はそうかもしれないが、話している人にとっては、答えを求めているわけではなく、ただ聴いてほしいのだと思った。特に電話など目に見えないところでの相談が増えており、見えていない分、相手の様子を感じ取れるようにしていけたらいいのかなと思った。
- ・ 実習2で話し手の立場を経験し、自分の中で気持ち整理や話がまとまらず話を途切れさせたりする等、話しづらさを感じた。日頃、御利用者や御家族と話をしている際の無音の時間に気まずさを感じてしまっていたが、相手が自分の中で気持ちや話を整理しているのだと理解し、寄り添う姿勢を大切に、ゆったりとした気持ちで言葉が出てくるのを待つことを心掛けたいと思う。
- ・ 利用者家族の話を伺う際に、受容することを意識して関わってきたい。
- ・ 考えすぎず傾聴をすることを意識していきたい。
- ・ 返答する事も大事だが、相手のこころの中を丁寧に感じていきたいと思います。
- ・ 個別のケースに丁寧に向き合う
- ・ 話の捉え方